

雅楽の楽器

吹物	笙	長短 17 本の竹の管が円形に並んでいる気鳴楽器。吹き口から、息を吐くときと吸うときの両方で発音できる。合竹 ^{あいたけ} と呼ばれる和音を演奏する。
	箏 ^{ろう} 箏 ^{ぜう}	ダブルリードのような形状をした ^ろ 芦舌 ^{ぜつ} を用いる縦笛。龍笛とともに主旋律を担当する。
	龍笛	七つの指孔 ^{ゆびあな} をもつ横笛。主旋律や、旋律を装飾する音を担う。
弾物	琵琶	雅楽で用いる琵琶は楽琵琶とも呼ぶ。4 本の弦をばちを使って弾く。
	箏	雅楽で用いる箏は楽箏とも呼ぶ。13 本の弦を、指に付けた爪を使って弾く。
打物	羯鼓	2 本のばちで両側から打つ。演奏の流れを統率する役割をもつ。
	太鼓	2 本のばちで、太鼓の片面を打つ。音楽の節目を示す重要な役割をもつ。
	鉦鼓	金属製の打楽器。皿状の金属板の凹面を 2 本のばちで ^す 摺るように打つ。

「越天楽」について

正式には「平調越天楽」といいます。舞はなく、管絃のみで演奏されます。曲名の由来など詳細は不明です。この旋律は、のちに民謡の黒田節や謡曲、箏曲などに取り入れられました。「越天楽」の旋律に歌詞を付けた「越天楽今様」もよく知られています。

冒頭 箏^{ろう}箏^{ぜう}の旋律

